

# 幼児教育の理解・発展推進事業について 及び 令和7年度中央協議会の報告



高知県教育委員会事務局 幼保支援課

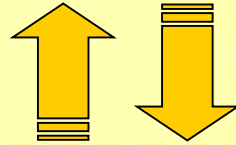
# 幼児教育の理解・発展推進事業

## 中央協議会（文部科学省）

（都道府県協議会の研究成果について協議）

協議の成果報告

中央協議会への参加 等



協議主題の提示

都道府県協議会の開催

中央協議会への参加依頼 等

## 幼児教育研究協議会（高知県教育委員会） 専門的な研究協議、演習等

協議主題1：「指導と評価に生かす記録について」

協議主題2：「幼児教育と小学校教育の接続による教育の充実について」

協議主題3：「特別な支援を必要とする幼児の状態等に応じた計画的、組織的な指導の在り方について」

参加

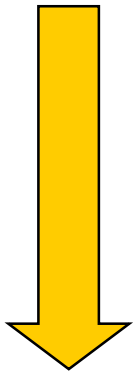
幼稚園教員、保育教諭、保育所保育士（国公立を問わない）

小学校教員、教員養成系大学教員等

幼児教育アドバイザー、  
架け橋期のコーディネーター  
の参加も可能

幼児期の教育の理解・発展推進を通じた  
幼児教育の質の保証

**高知県**



**1期（6月）**

**協議主題の説明**

**2期（8月）**

**レポート・協議**

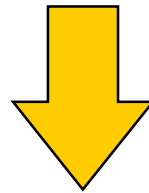
**文部科学省**

今年度は例年通りの  
レポートの作成はなし

**中央協議会（12月）**

**で発表・報告・協議**

今年度は中央協議会の  
開催はなし



**幼児教育の振興と充実**

「主体的・対話的で深い学び」の実現を通じた

補足イメージ1-②

**自らの人生を舵取りする力**と **民主的で持続可能な社会の創り手** 育成（今後の検討イメージ）

「好き」を育み、「得意」を伸ばす  
（興味・関心）

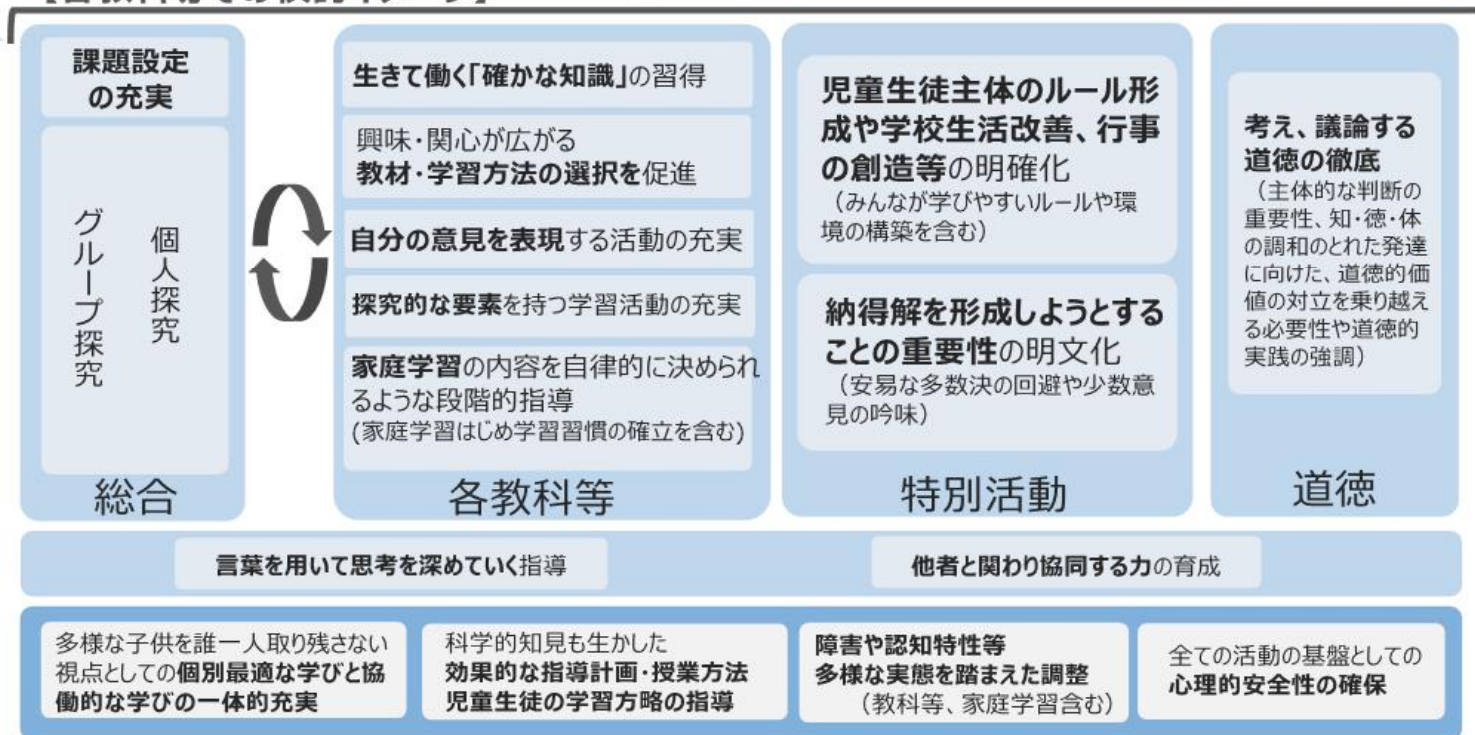


当事者意識を持って、自分の意見を  
形成し、対話と合意ができる

【各教科等での検討イメージ】

好き・得意をベースとした  
主体的な進路選択の促進

高  
中  
小  
幼



学びをデザインする高度専門職としての教師  
「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白

デジタル学習基盤をはじめとする基盤整備  
総合的な勤務環境整備

## 幼児の遊びや生活に関する現状と課題

- 意図的に用意しなければ、幼児の発達に必要な、様々な人やものと直接的・具体的に関わる体験を十分に確保することが困難になっている
- 一部の幼児教育施設においては、幼児の興味・関心ではなく、SNS等からの偏った情報やそれらに影響を受けた一部の保護者のニーズを優先するなどし、幼児の発達にふさわしくない教育活動が行われているとの指摘がある



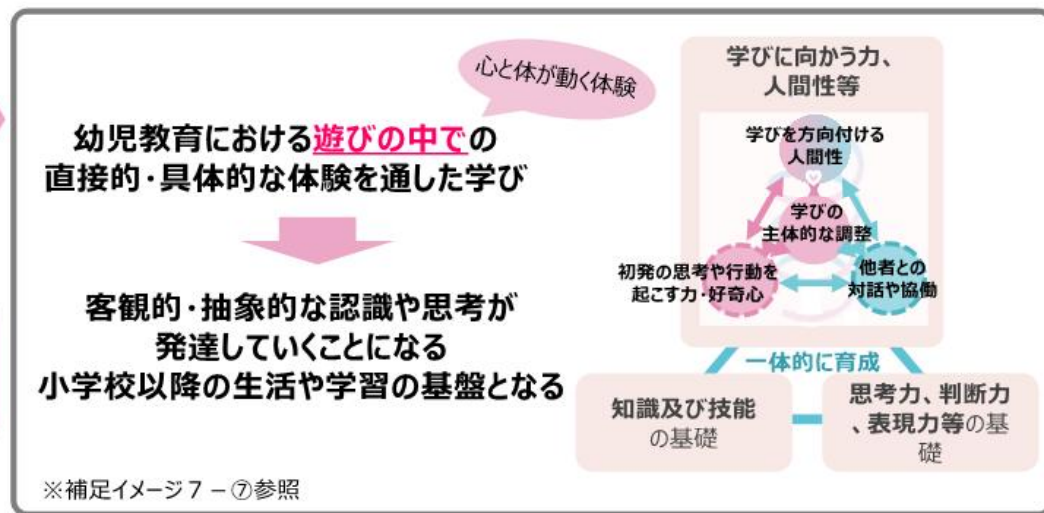
## 考えられる方向性と論点①（幼稚園教育要領等関係）

### 1. 直接的・具体的な体験の一層の充実

- どの幼児教育施設においても、幼児の自発的な活動としての遊びを通して資質・能力が育まれるよう、様々な人やものと直接的・具体的に関わる体験を一層充実する方向性で検討すべき

### 2. 幼児教育と小学校教育との円滑な接続の推進

- 幼児教育施設と小学校の両者が、相互に共通理解を図り、各園・校における架け橋期（5歳児から小学校1年生の2年間）のカリキュラムの作成やスタートカリキュラムの充実等の取組も含め、円滑な接続を一層推進する方向性で検討すべき



### 【具体的な方策】

- ・子供の資質・能力を育む学びの連続性を明確にするため、幼稚園教育要領等においても、学習指導要領との連続性を表形式やデジタルを活用して示していくべき
- ・子供それぞれの興味・関心や一人一人の個性に応じた多様で質の高い学びを引き出す観点から、幼児教育の「環境を通して行う教育」と小学校以降の授業改善の取組について相互理解が図られるよう、幼小中高の指導方法の趣旨の一貫性を明確にすべき

## 幼児の自発的な活動としての遊びを通じた学びが、小学校以降の生活や学習の基盤となることのイメージ

幼児は、興味や関心をもったものに対して自分から関わろうとする

この自らの興味や関心から発した直接的で具体的な体験から、幼児は、幼児なりのやり方で、自分の生きる世界について学び、様々な力を獲得していく。幼児が、遊びを通じて学ぶことの楽しさを知り、積極的に物事に関わろうとする気持ちをもつようになる過程こそ、小学校以降の学習意欲へとつながっている。幼児期に多様な体験をし、様々なことに興味や関心を広げ、それらに自ら関わろうとする気持ちをもつことが重要

◆ 肯定したり、問いかけたり、振り返りを促したり、共に喜んだりする

◆ モデルとして環境に関わる姿を見せる

◆ 遊具や用具、素材、絵本・図鑑、情報機器などを、教育的意図の基に配置し、環境を構成する

【教師の関わり】  
例えば、

幼児の興味・関心を捉えたり、興味・関心を引き出したりする

幼児は、これまでの体験を生かして試行錯誤しながら、探究を行っている

〇〇したい！これって何？  
などの自らの興味・関心から...

例えば、

- 冬に容器に入れた水が凍ることに気付き、厚い氷を作ろうと競争する中で、なぜある場所に置くと厚い氷ができるのだろうかと疑問が生まれ、様々な場所に容器を置いて比べたり、水に葉っぱを入れたらどうなるかなど、予想を立てたり確かめたりする。
- ソラマメを育てようと、図鑑で調べたり近隣の農家の方に教えてもらったりしながら、水やりをしたり害虫予防をしたりするなどの世話をし、成長を喜び収穫して皆で味わう など

〇〇したい！これって何？  
などの自らの興味・関心から...

例えば、

- 遊びの中で、リボンの長さを比べたり、運んでいるバケツの水の重さを比べたり、泥団子の大きさを比べたりするなどした体験の積み重ねから、芋掘りの際に、誰の芋が一番か比べようとして、様々な尺度の一番（長い芋、重い芋、大きい芋）があることに気付く
- 遠足で木立の間を散策している時に、みんなで読んだ絵本の中の「こもれび」という言葉を思い出し、木の下から空を見上げながら、「これ、『こもれび』だね」と気付き、友達と伝え合う など

〇〇したい！これって何？  
などの自らの興味・関心から...

例えば、

- 走る、飛び跳ねる、這う、転がる、背伸びをする、階段を上り下りする、...
- 鉄棒にぶら下がる、ブランコに乗る、滑り台を滑る、...
- 先生に挨拶をする、友達とおしゃべりをする、友達の真似をする、...
- 紙をちぎる、紙を丸める、テープで貼る、色を塗る、絵を描く...
- 植物に水やりをする、虫を捕まえる、生き物に餌やりをする、...
- 絵本・図鑑を読む、記号や形を書く、名前を書く、...
- 数を数える、みんなで同じ数ずつ分け合う、長さを比べる...
- 箱をたたいて音を出す、歌を歌う、音楽に合わせて踊る、...

など

全ての学びの土台

小学校以降の生活や学習に必要な多様な体験であるとともに、教科等の学び・探究のプロセスの原体験になる

## 幼児教育施設間、幼児教育施設と小学校間における 相互理解の促進のために — 行政的サポート —

- 実践・情報・専門的内容及び技術の交流の単位（以下地域ブロック）を決める
  - 交流のしやすさ、動きやすさを重視
- 連携推進の核となるキーパーソンの連携組織を**チーム**として発展させる
  - 地域の子どもの姿に基づいて  
実践の質向上の目標を立てる
  - 各園校で取り組むことを決める
    - **実践交流** 合同保育・授業 給食交流…
    - **研修交流** 相互参観 合同研修会 教育環境合同整備…
    - **情報交換** 行事内容 保護者宛資料 要支援児の情報…
  - 取組経過において、👍を見出し励まし合う

それぞれの地域の実態に応じて  
取り組みが実践の質向上に寄与するよう  
内容構成の枠組みを提示しサポート

資料

京都教育大学

古賀 松香 氏

幼児教育施設間、幼児教育施設と小学校間における相互理解の促進のために — 実現したい質を確認する —

## ■ 自発的な活動としての遊びを中心とした指導を地域ブロックで共通理解する

### ■ 幼児教育アドバイザーの指導助言の重要性

たとえば...

- 文部科学省HPにある動画資料を共に見て協議する合同研修を行う

- 地域の国立大学附属幼稚園／幼保連携型認定こども園の公開保育研究会に参加し、事後に感想交流研修を行う

## ■ 幼児教育アドバイザーは小学校教育の指導主事と連携し、指導内容をつなげる

- 教育委員会内で幼児教育に対する理解を広げ、特に低学年に対する指導内容について共有することが重要

資料

京都教育大学

古賀 松香 氏

## 幼児教育施設間、幼児教育施設と小学校間における相互理解の促進のために — 専門性の交流の手立て —

たとえば...

- 実践や子どもの姿を見取る視点を地域ブロックで共有する
  - 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」のうち焦点を当てる姿を定め、解説文を含めて読み合い、それぞれの園校にある課題感を共有する
  - 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を育む環境構成の工夫を出し合う（写真を持ち寄る等具体化する工夫を）⇒プラスワンアイデアを考え合う
  - 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が見られた場面の写真や動画を元に、うちの子自慢大会を定期開催する
    - 子どもの姿を生み出した援助・環境構成の工夫について付箋に書き出し、マッピングする
    - 年齢や時期で整理する
    - 幼児教育施設間、幼小間の共通点をピックアップする
    - 自校園の実践でやってみたいチャレンジを考え合う

資料

京都教育大学

古賀 松香 氏

## 架け橋期のカリキュラムの開発・実施のために ーチーム連携から組織体制へー

たとえば...

- 架け橋期の学年を超えて縦糸を通す研究テーマを地域ブロックで設定する
  - 地域で育みたい資質・能力、目指す子ども像について協議して決める
  - 実践の変革を目指す研究テーマを毎年設定し、徐々に内容の更新をしていく
- 研究テーマについて全学年で取り組み、保育・授業の在り方を挑戦的に工夫する
  - 保育は「環境を通して行う」「自発的な活動としての遊びを中心とする」ことを通して、研究テーマに迫る工夫をし、成果と課題を地域ブロックで共有する
  - 授業は「主体的・対話的・深い学び」「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の実現を研究テーマに基づいて追究し、成果と課題を地域ブロックで共有する
  - 合同保育・授業は「子どもが主体的な学び手である」ことを軸に、研究テーマに迫る工夫をし、事後研修を行い、成果と課題を共有する

⇒架け橋期のカリキュラムへ

資料

京都教育大学

古賀 松香 氏

## 架け橋期のカリキュラムの開発・実施のために — 手ごたえを共有する仕組みへ —

たとえば...

- カリキュラムそのものでなく、保育・授業の実際と言葉の間を行き来することの重視
  - カリキュラム上、今の時期に大切にしたいことは？ 子どもの実態に照らすと？
  - この保育／授業で見た子どもの姿は目指す子ども像との関係でみると？
  - 対話的な検討を通してカリキュラムの微調整を行う
- 保育・授業の質について語り合い、考え合う実践共同体の実現
  - 「よかったね」で終わらない協議の工夫と基盤となる関係性の構築
  - 対話的な関係のサポーターとして幼児教育アドバイザーや架け橋期コーディネーターがファシリテートする
- 取り組みの成果をカリキュラムと保育・授業両方に反映させる仕組みを作る
  - 使いたくなるカリキュラム資料集を毎年度更新で作成する
  - 堅苦しくせず、写真を活用するなどコンパクトにまとめた事例を入れ込む

資料

京都教育大学

古賀 松香 氏



## 幼児期及び幼保小接続期の教育に関する参考資料

### ◆ 幼児教育の重要性お知らせポスター

ポスター

**幼児期に  
本当に大切な学びって  
何ですか？**

幼児期は、「遊び」の中で周囲のヒト・モノ・コトに自ら進んで関わりながら、豊かで多様な体験を通して、様々な「学びの芽」を育てていく時期です。小学校以降の学びの基礎となる「学びの芽」。

そんな「学びの芽」はどのように育まれているのでしょうか？

見てね！

幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズ

--	--	--	--

**遊びは学び 学びは遊び**  
"やってみようが学びの芽"

文部科学省



(文部科学省HP)  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/youchien/mext\\_02697.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/mext_02697.html)

### ◆ 幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズ

幼児教育は何のためであるのか、幼稚園等においては、子供たちに遊びを通して、どのように資質・能力を育てているのかについて各動画で解説しています。

動画  
コンテンツ

#### 幼児教育は何のため？ (約2分)

✓ 幼児期の大切な学びが分かる動画

<https://youtu.be/MExUaZ6M3G0>



#### 「遊びは学び」ってどういうこと？ (約7分)

<https://www.youtube.com/watch?v=UxfAI3XWfGo>



#### 「学びの芽」を育む園の工夫って？ (多様な遊び編) (約9分)

<https://youtu.be/VNjOwpuDd44>



#### 「学びの芽」を育む園の工夫って？ (どろだんご遊び編) (約7分)

<https://youtu.be/VuIP2CUKq-U>





# 令和8年度 高知県協議主題

## ◆協議主題1

「指導と評価に生かす記録について」

## ◆協議主題2

「幼児教育と小学校教育の接続による教育の充実について」

# 協議主題 1

「指導と評価に生かす記録について」

## 協議の視点

幼児理解を深め、幼児の姿から学びを見取り、指導の改善に繋げるため、どのような記録の作成や活用が考えられるか。

# 幼児期において育みたい 資質・能力を育むための指導

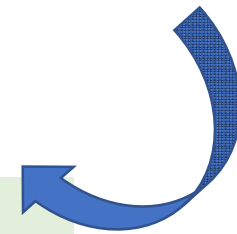
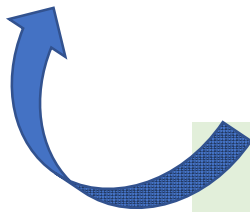
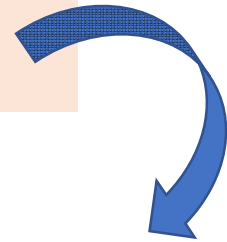
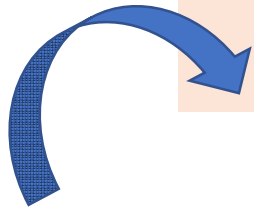
① 幼児理解に基づく  
指導計画の作成

④ 評価に基づいた  
新たな指導計画  
の作成

循環

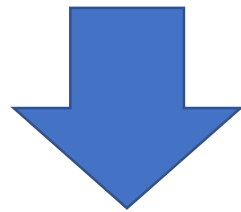
② 環境の構成  
と活動の展開

③ 幼児の活動に沿った  
必要な援助



# 幼児期において育みたい 資質・能力を育むための指導

幼児が自ら環境に関わって遊ぶ姿から学びを見取り、常に幼児の姿から指導の過程を振り返って改善を図ることが求められる。



- ☆ 幼児の姿から学びを見取り指導の過程を振り返るためには、**どのような保育実践の記録の取り方**が考えられるか。
- ☆ 指導の改善に繋げるためには、**どのような記録の活用の仕方**が考えられるか。

# 幼児期において育みたい 資質・能力を育むための指導

① 幼児教育の特性



② 幼児の姿から幼児理解を深める



③ 幼児の姿から学びを見取る



④ 幼児の姿から指導の評価・改善を行う



⑤ 幼児理解と指導の改善に生かす記録

# 幼児期において育みたい 資質・能力を育むための指導

## ① 幼児教育の特性

幼児を理解することが全ての保育の出発点

↳ 「発達を理解すること」

- ・ 年齢ごとの平均的な発達像と比較してその差異を理解すること
- ・ 幼児がどのようなことに興味や関心をもってきたか、興味や関心をもったものに向かって自分のもてる力をどのように発揮してきたか、友達との関係はどのように変化してきたかなど、一人一人の発達の実情を理解すること

# 幼児期において育みたい 資質・能力を育むための指導

## ② 幼児の姿から幼児理解を深める

### 幼児理解とは？

保育者が幼児と直接触れ合いながら、その言動や表情から思いや考えなどを推察し受け止め、その幼児のよさや可能性を理解しようとすること

#### ☆留意点

- ・ 幼児はその発達特性から、自分の気持ちや考えなどを十分に言葉で表現することができない場合がある。
- ・ 幼児の言動は思考や言語に至る前の感覚や感情に多く依拠している。その現れはときに弱く、保育者が捉えきれず、見逃してしまうこともあり得る。
- ・ 保育者にとって、幼児の言動や表情から幼児の思いや考えを理解することが難しいこともある。

# 幼児期において育みたい 資質・能力を育むための指導

## ③ 幼児の姿から学びを見取る

幼児が主体的に環境に関わる中にどのような学びがあるのかを見取ることが大切

### ☆留意点

- ・ 幼児を理解しようと努める  
⇒ 幼児理解の深まりにつながる
- ・ 発達に必要な体験を得ることができるようにするための環境構成や援助を心がける  
⇒ 幼児の学びの深まりにつながる

# 幼児期において育みたい 資質・能力を育むための指導

## ④ 幼児の姿から指導の評価・改善を行う

### 「指導計画」とは？

一人一人の幼児が幼児期にふさわしい生活を通して必要な経験を得ていくことができるようにあらかじめ考えた仮説

↳ 幼児の活動は予想を超えたものとなったり、違った方向に進んだりする可能性がある。

ねらい・内容の修正

環境の再構成

必要な援助

評価は**幼児理解**と**保育者の指導の改善**という両面から行うことが大切

# 幼児期において育みたい 資質・能力を育むための指導

## ⑤ 幼児理解と指導の改善に生かす記録

幼児を理解する上で、また、自身の保育を振り返る上で、**重要な資料が「記録」**



幼児理解に必要な情報や指導及び評価に生かせる情報が記された記録

○ 何のために、何を書くのか？

⇒ **記録をとる目的を明確化**

○ それはどのようにとるとよいのか？

⇒ **目的に応じた様式**

# 幼児期において育みたい 資質・能力を育むための指導

## ⑤ 幼児理解と指導の改善に生かす記録

記録に残された幼児の行動から**その意味を考え直す**ことや、周囲の人やものなどの環境へのその幼児の関わり、抱えている課題などを読み取っていくことができる。



記録を取り続けること、そして指導を振り返り明日に生かすことを継続することにより、日々の保育の質が高まり、幼児の学びが充実することにつながる。

# 指導と評価に生かす記録

令和3年10月



指導と評価に生かす記録  
2021 文部科学省  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/youchien/1341235.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/1341235.htm)

令和8年度

# 幼児教育研究協議会 1 期

－ 協議主題の趣旨説明 －

高知県教育委員会事務局 幼保支援課

## 協議主題

令和6年度から7年度の2年間

幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について



令和8年度

幼児教育と小学校教育の接続による  
教育の充実について

3要領・指針及び小学校学習指導要領でも明確に示される

幼児教育の成果が小学校教育につながることで、  
子供の発達と学びが連続するようにすることが大切  
である。

# 架け橋プログラム～国の動向～

学びや生活の基盤をつくる  
幼児教育と小学校教育の接続について  
～幼保小の協働による  
架け橋期の教育の充実～

令和5年2月27日  
中央教育審議会初等中等教育分科会  
幼児教育と小学校教育の  
架け橋特別委員会

文部科学省 HPより

## 架け橋期の教育の充実

発達や学びの連続性を踏まえた連携・接続の視点

→幼児教育

小学校教育→



**架け橋期（年長～1年生の2年間）**

- 0歳から18歳までの学びの連続性に配慮しつつ、架け橋期の教育の充実を図り、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくることが重要である
- 子供に関わる全ての関係者間が立場を越えて連携・協働することが求められる

## 協議主題2

# 幼児教育と小学校教育による 教育の充実について

## 協議主題2

### 幼児教育と小学校教育による教育の充実について

#### 協議の視点①

架け橋期の教育の改善・充実に向けて、幼児教育と小学校教育の学びの繋がりを考えるに当たり、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をどのように活用することが考えられるか。

#### 協議の視点②

教育の連続性・一貫性を踏まえた架け橋期のカリキュラムの作成、実施、評価、改善を具体的に実施していくためにどのような取組が必要か。

# 協議の視点

## 協議の視点①

架け橋期の教育の改善・充実に向けて、幼児教育と小学校教育の学びの繋がりを考えるに当たり、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をどのように活用することが考えられるか。



幼児教育において育まれてきた資質・能力が小学校の生活や学習においてどのように発揮されているのかを見取るなど、子供の姿を手がかりに、幼児教育と小学校教育の教師等が協働して子供の学びの繋がりを考えることが大切である。

その際、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をどのように活用することが考えられるか。

# 協議の視点

## 協議の視点②

教育の連続性・一貫性を踏まえた架け橋期のカリキュラムの作成、実施、評価、改善を具体的に実施していくためにどのような取組が必要か。



子供に関わる全ての関係者が立場を越えて、連携・協働し、架け橋期のカリキュラムの作成・実施等が進められている。

一方で、架け橋期のカリキュラム検討会議等や幼児教育と小学校教育の教師等の合同研修は実施しているものの、架け橋期のカリキュラム作成に至らなかつたり、作成にとどまり、実施・評価・改善が進んでいなかつたりするなどの課題が見られる。

架け橋期のカリキュラムの作成、実施、評価、改善を積み重ねていくことができるよう、どのような取組が必要か。

# 協働して学びの繋がりを考えるために

架け橋期の教育の改善・充実に向けて、幼児教育と小学校教育の学びの繋がりを考えるに当たり、「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」をどのように活用することが考えられるか。

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が到達目標と誤解され、連携の手掛かりとして十分機能していない。
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」だけでは、具体的なカリキュラムの工夫や指導方法の改善の仕方が分からない。
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を実践にどう生かすか。



## 具体的な活用等について、研修等を通じて一層の理解・啓発を図ることが必要

### 【協働して学びの繋がりを考えるために】 校区で実施する保育を見合っの研修



#### 9. 互いの教育の理解を図る研修会

##### ① 【互いの教育の理解】～保育を見合っの園内研修～

**【目的】** 架け橋期の子どもの育ちを、保育者と小学校教員が**子どもの姿をもとに語り合う**ことで、互いの教育への理解を深め、**双方の教育のさらなる質の向上につなげていく**ことが大切です。

**【ポイント】** 具体の「**子どもの姿**」をもとに、語り合いを通して「**育ち**」を検討

**【準備する物】** 模造紙、付箋(4色)、サインペン、カラーペン、視点メモ、「資質・能力のつながり」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」参考資料

**【所要時間・人数等】** 参観:90分程度 協議:1時間半程度 人数:1グループ5人程度

##### ◆前日までに

- ① 視点メモ、各参考資料を、幼保支援課 HP よりダウンロードし、印刷する。(p.45 参照)
- ② 小学校教員は、保育参観の前に**保育を見る視点**を学んで園内研修に参加するとい。

##### 重要

小学校教員のなかには、保育の何を見たらよいか分からない方もいるのでは？  
子どもが遊んでいる姿をどのように見るか？「ただ楽しそうに遊んでいる」と見るのか、「何を楽しんでいるのだろうか？」「何を表現しようとしているのだろうか？」と見るかで、見える子どもの姿が変わってきます。本資料についても幼保支援課 HP でダウンロード可能です。説明文も付いているので、事前に小学校で学んでおくこともできます。

##### 「保育を見る視点」資料の紹介(抜粋)

次のような視点で子供たちの姿を見ていきましょう

- 例えば、...
- ★何を楽しんでいたのか。
  - ★何に興味や関心をもっていたのか。
  - ★こだわっていたこと、その意味は...
  - ★何を表現しようとしていたのか。
  - ★何を感じていたのか。
  - ★戸惑っていたことやめらっていたことは...
  - ★友達とどのような関わりがもたらされたか。
  - ★自分(保育者)はどのように関わっていたのか。 など

##### どのような経験をしているでしょう(何とどうしているか)

- 遊びを通じた総合的な経験 —ものを転がして遊ぶことを楽しむ—
- ★様々な経験、素材です
  - ★転がりの方(距離・距離など)と遊ぶ楽しさ
  - ★自由に遊ぶ
  - ★アイデアを出し合う
  - ★友達に話す
  - ★友達に説明する
- ※写真は、子供の撮影写真、録音の録音写真、写真と「(知)」「(人)」「(物)」との関わりがより豊かになるように意識を徹底し、撮影しています。

★幼児期の遊びの中には、小学校教育以降の資質・能力の基礎が満載です。

##### ◆当日の朝

- 当日参加する小学校教員は、保育参観 15分程度前に集合し、園長等(担任は保育中)から、説明を受ける。  
【説明内容】・昨日までの子どもの様子・視点メモの書き方・日案の見方 等



※ 遊びは学び 学びは遊び “やってみてが学びの芽”の動画コンテンツ(文部科学省)を視聴することもおすすめです。

動画はこちらから



【協働して学びの繋がりを考えるために】 校区で実施する保育を見合っの研修



架け橋期の  
カリキュラム

「幼児期までに  
育てほしい姿」  
カード



【協働して学びの繋がりを考えるために】 校区で実施する保育を見合っの研修

Dグループ 8月27日

◎ したい遊びを見つけ、友達と意思を出し合いながら遊ぶ楽しさを味わう

◎ 体を思いきり動かして遊ぶ心地よさを感じ、満足感を味わう

子供主体の保育

木の豊か

魚っり

射的

ままごと

水あそび

クレンゲーム

経験が...  
～い～

① ども取り入れたこと...  
保護者の発信  
連絡  
共有  
小まなトラブル  
小まなりら  
ドキュメンテーションの活用

保育士は  
場を整えて待つ

満足感 充実感

自信

次の活動へ

自分のカウを  
やぶくのを待つ

認め合の場

6

幼児教育において育みたい資質・能力の整理

小学校以上	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
基礎	知識・技能の基礎	思考力・判断力・表現力等の基礎	
幼児教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣や生活に必要な技能の獲得</li> <li>身体感覚の育成</li> <li>規範性、法則性、認識性等の発見</li> <li>様々な気持ち、発見の喜び</li> <li>日常生活に必要な言葉の理解</li> <li>多様な態度や芸術表現のための基礎的な技能の獲得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>試行錯誤、工夫</li> <li>学習、学習、比較、分類、整理</li> <li>他の幼児の考えなどに触れ、新しい考えを思いつきやまとし</li> <li>言葉による表現、伝え合い</li> <li>振り返り、次への見通し</li> <li>自分なりの表現</li> <li>表現する喜び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思いやり</li> <li>安定した情緒</li> <li>自信</li> <li>相手の気持ちの受容</li> <li>好奇心、探究心</li> <li>意欲、自分への向き合い、誇り高い</li> <li>意欲、目的の共有、協力</li> <li>色・形・音等の美しさや面白さに対する感覚</li> <li>自然現象や社会現象への関心</li> </ul>
幼児教育	<p>遊びを通しての総合的な指導</p> <p>学びに向かう力・人間性等 (心情、態度が育つ中で、いかによりよい生活を営むか)</p>		

園内研修で使えるオススメ資料

【10の姿カード】  
シールにすると活用  
の場が広がります

保育を見る視点

～保育参観・保育者体験等をする前に～

保幼小連携・接続プロジェクトチーム  
高知県教育委員会事務局

① 健康な心と体	① 健康な心と体	① 健康な心と体	① 健康な心と体	① 健康な心と体	① 健康な心と体
② 自立心	② 自立心	② 自立心	② 自立心	② 自立心	② 自立心
③ 協同性	③ 協同性	③ 協同性	③ 協同性	③ 協同性	③ 協同性
④ 道徳性・規範意識の芽生え	④ 道徳性・規範意識の芽生え	④ 道徳性・規範意識の芽生え	④ 道徳性・規範意識の芽生え	④ 道徳性・規範意識の芽生え	④ 道徳性・規範意識の芽生え
⑤ 社会生活との関わり	⑤ 社会生活との関わり	⑤ 社会生活との関わり	⑤ 社会生活との関わり	⑤ 社会生活との関わり	⑤ 社会生活との関わり
⑥ 思考力の芽生え	⑥ 思考力の芽生え	⑥ 思考力の芽生え	⑥ 思考力の芽生え	⑥ 思考力の芽生え	⑥ 思考力の芽生え
⑦ 自然との関わり・生命尊重	⑦ 自然との関わり・生命尊重	⑦ 自然との関わり・生命尊重	⑦ 自然との関わり・生命尊重	⑦ 自然との関わり・生命尊重	⑦ 自然との関わり・生命尊重
⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
⑨ 言葉による伝え合い	⑨ 言葉による伝え合い	⑨ 言葉による伝え合い	⑨ 言葉による伝え合い	⑨ 言葉による伝え合い	⑨ 言葉による伝え合い
⑩ 豊かな感性と表現	⑩ 豊かな感性と表現	⑩ 豊かな感性と表現	⑩ 豊かな感性と表現	⑩ 豊かな感性と表現	⑩ 豊かな感性と表現

【『保育を見る視点』  
説明パワーポイント】

小学校の先生と保育を見合っの園内研修をする前に活用するのがオススメです。もちろん保育者さんが今一度確認する際にも活用いただけます。説明も付いています。

【公開保育】〇〇保育所（5歳児）  
令和〇年〇月〇日（〇）

研修目標：  
下記3点を協議で出し合いたいと思います。メモを取りながら、保育を見てください。

① 周りの人やものに興味・関心をもち、自ら動きかけたり、繰り返したりしている姿  
◆誰がどこでどんなことをしていたでしょう【黄色】 ★何を楽しんでいたでしょう【桃色】

【桃色】の根拠となる姿  
自ら周りに動きかけている一人一人の姿を意識して、具体的に「表情、動き、視線など」のような姿だったのか記録してみましょう。

★何を楽しんでいたのか、★戸惑っていたことやためらっていたこと、★友達とどのような関わりが見られたか、等

例：Aちゃんが、外のテーブルの上に細かな砂を築き、息を吹きかけ、その変化を見ては、別の位置から吹きかけ、その変化をまた見ていた。強く吹いたり優しく吹いたりもしていた。

★何を楽しんでいたのか、★戸惑っていたことやためらっていたこと、★友達とどのような関わりが見られたか、等

例：吹きつける空気の量や角度、勢いなどで、砂の形に変化があることに気付いている。

② その姿につながった環境構成（場の構成・材料・もの）と保育者の援助【水色】

③ 明日の保育につなげるためにプラスしたい環境構成と援助  
（こんな環境構成や援助がプラスされると、！）姿につながる）

こちらからダウンロード  
してお使いください



幼保支援課  
ホームページより



5歳児園内研修に小学校教職員  
全員で参加

- ・保育者の事前の準備と、手立ての多さに感動した。また、子どもの意見を聞き、確かめながら進めていることも素敵だと思った。
- ・小学校高学年になっても、子どもの意見を引き出していく姿勢が大切だと改めて気付いた。
- ・小学校では特別活動の授業があるので、この時間を軸に、子どもの意見を中心に置いて学級経営を行っていきたい。

参加した小学校教員からの感想

- ・子どもたちがのびのびと自分たちの「やりたい！」という思いを表現したり、友達のことを思いやったりしながら活動している姿に、(5歳児でも、こんなに周りのことを見て気付いて動けるんだな)と感心した。
- ・子どもの言葉や思いを大切にしながら保育をされている先生の姿に、自分たちが授業づくりで大切にしている「子どもの言葉で授業を創る」と同じだとうれしく思った。



校区、所・園・学校で育成したい非認知能力を高めるために 【

保幼小連絡会】

見る

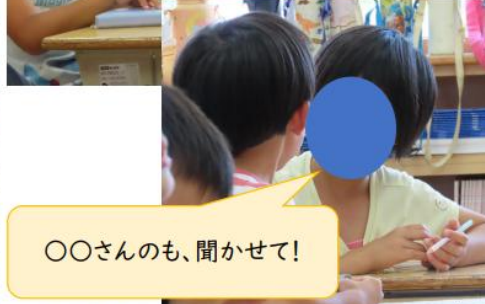
「コミュニケーション能力」を発揮している姿

どんな力が育っているとみられるか

どのような学習環境がその姿につながったか



その文、おもしろいね!



〇〇さんのも、聞かせて!



ありって、どれくらいなが?



これくらい!  
(ジェスチャーをつけて)

校区、所・園・学校で育成したい非認知能力を高めるために 【

保幼小連絡会】

知る

視点【コミュニケーション能力を発揮している姿】  
をもとにした協議

「コミュニケーション能力」を発揮している姿

どんな力が育っているとみられるか

どのような学習環境がその姿につながったか

幼保支援課の指導主事にも入ってもらいました。



保育所では…

小学校でも…

幼児期とどんなつながりがあるのか?



子どもが力を発揮できるように、所・園・学校で、大事にしていきたいことは?



架け橋コーディネーターの小堀 美雅子先生に、保幼小のこれからの取組につながる指導助言をいただきました。



各所属で、子どもたちの力をさらに豊かに育む



知る

## 小学校の取組より 【教職員の意識を揃える】

- 段差が大きく感じてしまうのは、子どものせいではなく、**周りの環境や関わり方**ではないだろうか。
- 教科につながる見方・考え方をどの子も持っている。教師がいかに**授業の中で引き出していくか**が大切。
- 同じ活動をするのでも、**先生が意識しているかいないか**で教育的活動になるかどうかが変わってくる。



小学校だけでなく、中学校の「のりしろ期」でも大切にしたいことですね！！



## 小学校の先生たちから出ていた感想より…



これまで「異学年にとってもメリット」という風には考えていなかった。これから交流するときには、お互いによさがあるように、それぞれにねらいや目的をもって、お互いのよさを高め合えるような交流にしていきたい。

そういえば、今年は1年生が泣いて教室に入ってこれんということがない。去年、色々な学年が保育所交流したり、休み時間に校庭で子どもたちが遊んだりして連携していることの成果じゃないかな。

体育のカリキュラムを見ていたら、『幼児期運動指針』に沿った…ということも書かれていました。体育でも、幼児期からのつながりがちゃんとあるんですね。そういった所も意識していきたいです。(体育主任の先生からの後日談)

教職員が意識を揃えたことで、その後、異学年の子ども同士の関りの中でも「1年生ができることは任せる、見守る」という意識が見られ、1年生が安心して力を発揮することができています。

組織的に取り組む



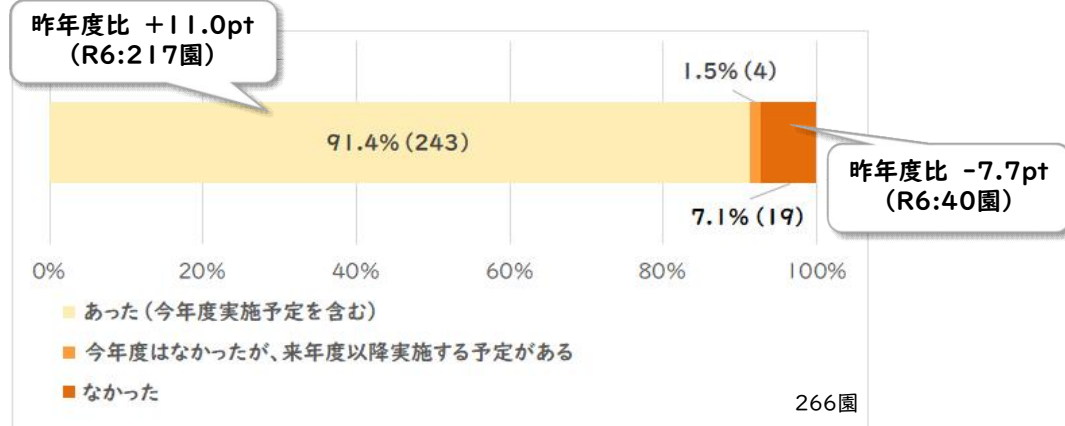
安心した環境の中、  
一層力を発揮する姿  
へとつながる



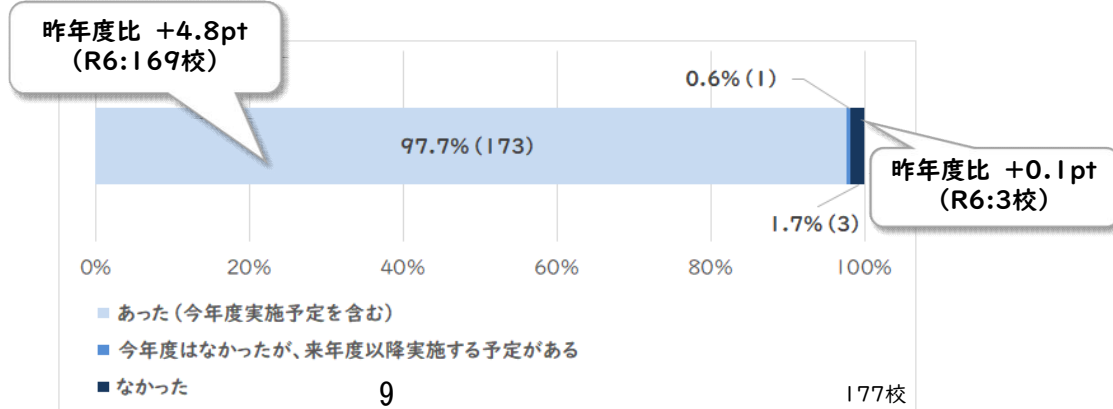
# R7 架け橋プログラム実施状況アンケート結果

## 互いの理解を深める機会

### ◆保育所・幼稚園等◆

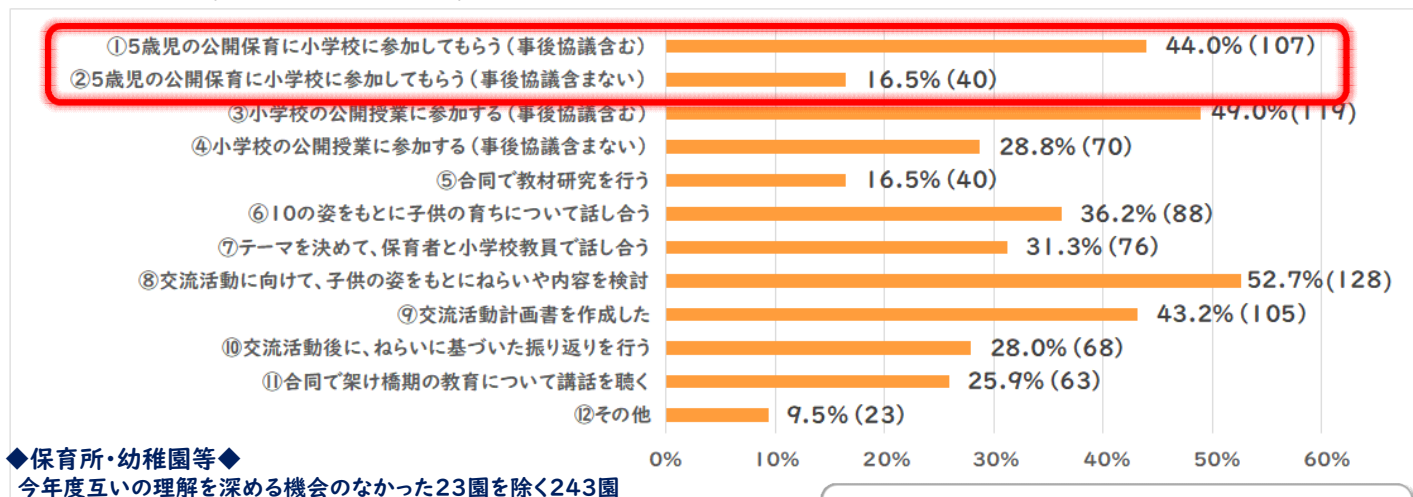


### ◆小学校◆



# R7 架け橋プログラム実施状況アンケート結果

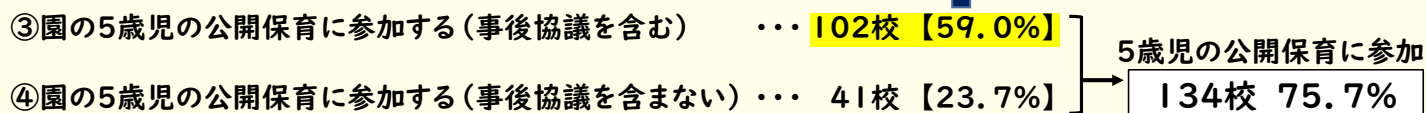
## 互いの理解を深める機会の内容



R6年度「園内研修への参加(協議含む)」48.5%  
昨年度比 +10.5pt (R6:82校)

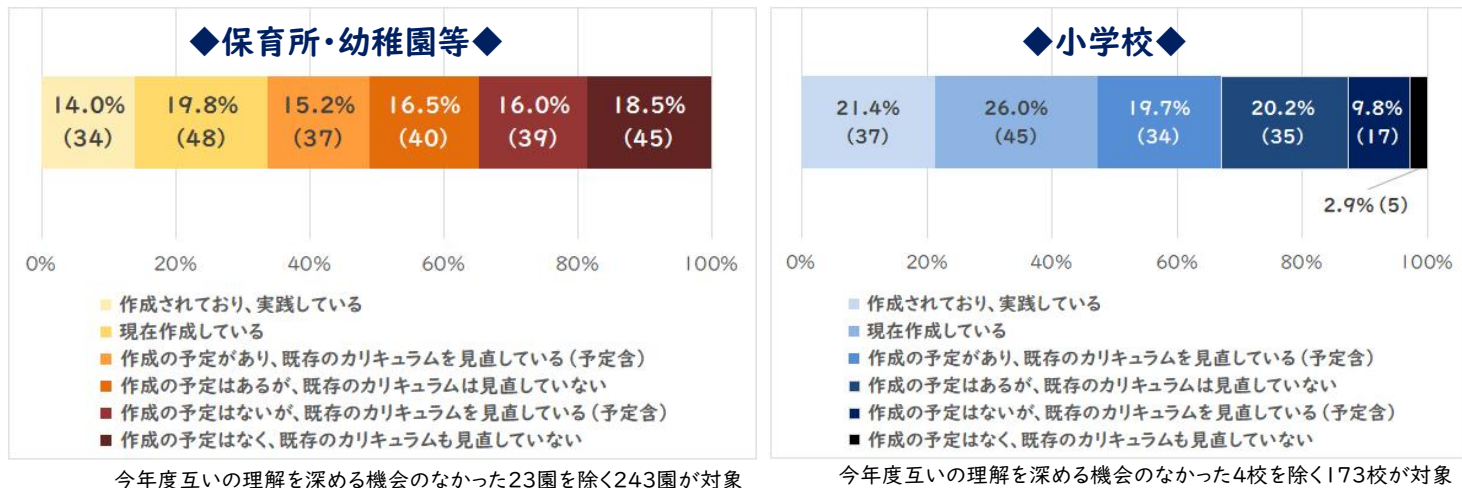
## ★KPIに関わって (177校における参加状況)

「5歳児の園内研修に協議まで参加した小学校区の割合」※R7より新設



# R7 架け橋プログラム実施状況アンケート結果

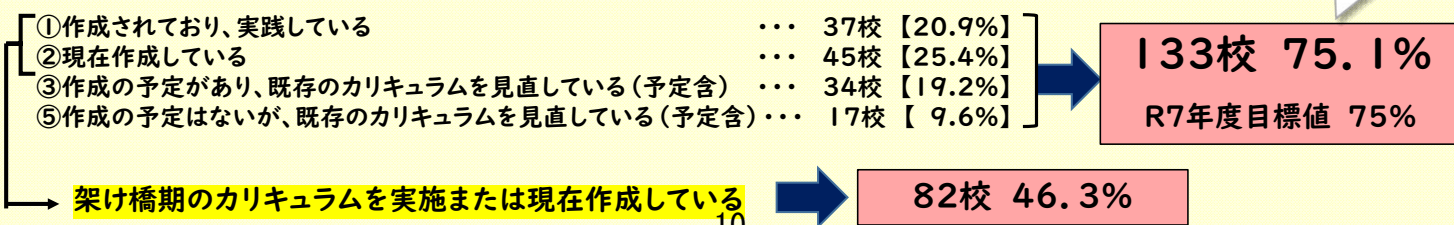
## 架け橋期のカリキュラムの作成状況



## ★KPIに関わって (177校における作成状況) ※母数を177とした割合

昨年度比+4.8pt  
(R6: 70.3%)

「話し合いをもとにカリキュラムを作成、または既存のカリキュラムの見直しを行っている小学校区の割合」



# 架け橋期のカリキュラムの実効性を高めていくために

教育の連続性・一貫性を踏まえた架け橋期のカリキュラムの作成、実施、評価、改善を具体的に実施していくためにどのような取組が必要か。

・行事の交流等の取組にとどまり、資質・能力をつなぐカリキュラムの編成・実施が行われていない。



架け橋期のカリキュラムに取り組む意義やねらい、子供の変容等について共有を図りつつ、具体的に話し合い、子供の実態に応じて、架け橋期のカリキュラムの実践・改善等を行っていくことが重要

## 【架け橋期のカリキュラムの実効性を高めるために】 夜須小学校区の取組

### ① 保小合同教材研究 ～水遊び～



P46

1年生活科 単元「なつがやってきた -水であそぼう-」の授業に向け、事前に園の先生方と一緒に教材研究を行った



夏に水遊びの経験と関心 ... 子供の思いから遊びを ... 十分遊ぶ ... 満足に遊ぶ → 友達に意識を向ける ... 1年生 ... 総合的 ...

水遊びのねらい ... 水の性質 ... 水の循環 ... 水の大切さ ... 水の安全 ... 水の楽しさ ...

水遊びの準備 ... 水遊びの道具 ... 水遊びの場所 ... 水遊びの時間 ... 水遊びのルール ...

水遊びの実践 ... 水遊びの観察 ... 水遊びの話し合い ... 水遊びの発表 ... 水遊びの振り返り ...

水遊びの評価 ... 水遊びの振り返り ... 水遊びの改善 ... 水遊びの継続 ... 水遊びの発展 ...

水遊びのまとめ ... 水遊びの感想 ... 水遊びの学び ... 水遊びの楽しさ ... 水遊びの大切さ ...

R7 5 19 11 夜須小 1年生活科 園との教材研

① 保小合同教材研究 ～水遊び～

その遊びの中で  
経験していること

（水遊びの場）  
砂場場といや  
パイプを使い水の  
流れるコースを作る

自分の中のイメージ  
を伝えながら、  
自分の思う街を作る

水が流れるために  
は高低差が必要  
なことに気付く

どうすれば水が  
流れるか、友達と  
考えを思い合う

力を合わせて  
アライに入っ=  
水を運ぶ

何度も遊んで  
はに...

高低差... 5年理科  
水が流れる... 3年理科 } 園で経験!!

一気に運ぶのは  
どしたらいいかな?

水遊びに関わる  
園での遊び

保育者が  
大切にしていること

友達と力を  
合わせてアライ  
に入っ=  
水を運ぶ

この元は  
で話し合い

園には  
一緒に遊ぶ

教材研究を通して、  
1年担任が  
大切にしたいこと

“夏に遊ばせ”の経験を聞く ... 子どもの思いから遊びを作る

必要なものも子どもが考えて準備

十分に遊ぶ ... 満足に遊ぶ → 友達に意識が向いてくる (他者意識)

伝える ... 合科的に

おしゃべり  
遊びを  
遊びが楽しく  
なるように

1年担任が大切にしたいこと  
・遊ばせの経験  
・おしゃべり  
・遊びが楽しくなるように  
・おしゃべり  
・遊びが楽しくなるように

② 保小合同 1年生活科 公開授業研究会

夜須小1年生生活科  
〈本時の評価規準〉

〔思考力・判断力・表現力〕これまでの経験を基に、自分のおもしろい工夫しようと思ったことを伝え、  
友だちと話し合いをしてよりよくなるようにしている。

色水

色水 - あい  
色水 - あい  
色水 - あい

園での経験

色水 → 瓶に色水を入れて  
お風呂もバブバブ

園では色水でたくさん  
遊ぶ体験している。

色水 → 瓶に色水を入れて  
お風呂もバブバブ

園では色水でたくさん  
遊ぶ体験している。

しゃぼん玉

しゃぼん玉

道具が少なくて...  
園中で子どもは口で吹いて  
と覚えていた。少しおもしろい!

体を使ってしゃぼん玉を作ろう

しゃぼん玉をうらわにのびる時の  
力の加減や調整ができていた。

できる限りの道具で作った。

水でぼう!

水でぼう!

量に合う目盛り・比較のり  
仮説を立てる 予測する

あきらめない。試行錯誤しながら挑戦

人の見て、まわって、自分で考えて工夫していた。

園ではテストでやっていたので、道具を上手に  
使う姿が見られていた。

子どもの  
つぶやき

色水 → 瓶に色水を入れて  
お風呂もバブバブ

園では色水でたくさん  
遊ぶ体験している。

どんな経験を  
おもしろい!

子どもの発言から 道具で工夫  
遊ぶ中から気づかされた。

経験 目的に合った道具で工夫  
おもしろい!

経験  
大切

あきらめない。試行錯誤しながら挑戦

人の見て、まわって、自分で考えて工夫していた。

園ではテストでやっていたので、道具を上手に  
使う姿が見られていた。

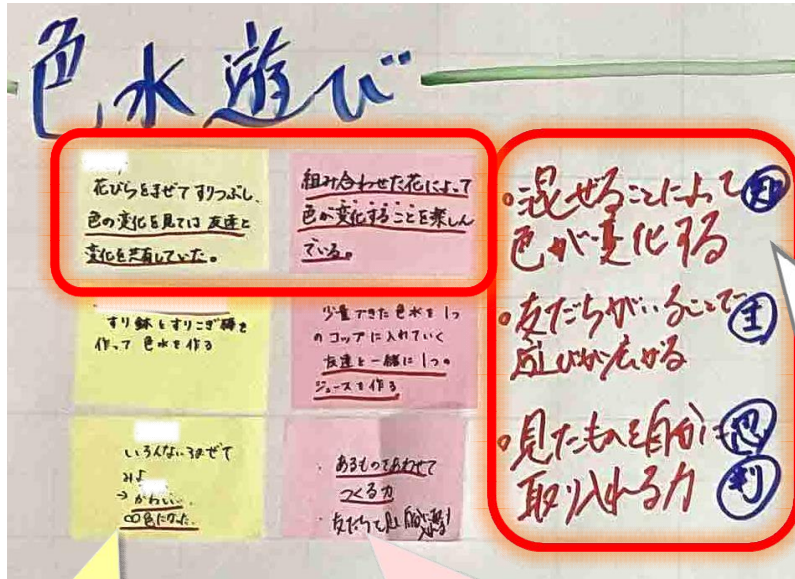
おしゃべり  
遊びを  
遊びが楽しく  
なるように

おしゃべり  
遊びを  
遊びが楽しく  
なるように

おしゃべり  
遊びを  
遊びが楽しく  
なるように

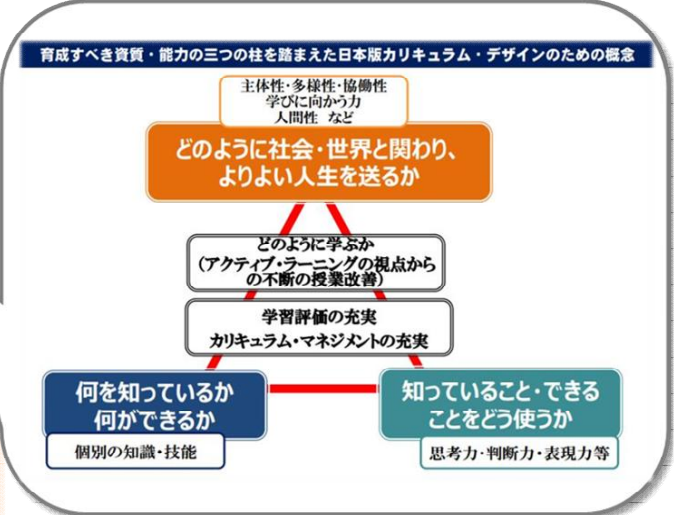
【架け橋期のカリキュラムの実効性を高めるために】 夜須小学校区の取組

② 保小合同 1年生活科 公開授業研究会



①ねらいに基づいた子どもの姿

② ①の姿から推し量った子どもの内面(楽しんでいることや経験していること)



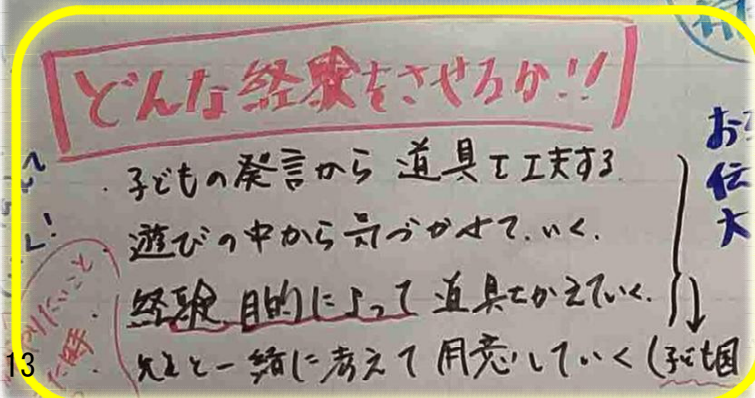
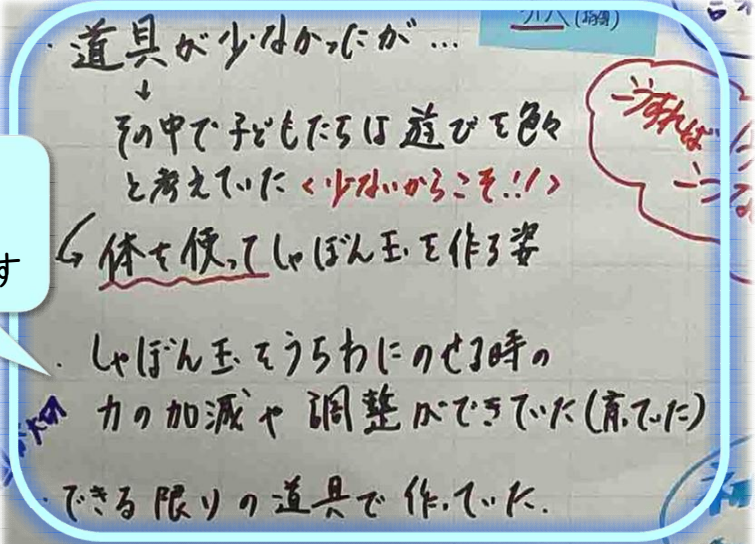
【架け橋期のカリキュラムの実効性を高めるために】 夜須小学校区の取組

② 保小合同 1年生活科 公開授業研究会



意図した環境  
↓  
子どもの育ちを促す

具体の「子どもの姿」をもとに、語り合うことで、互いの教育で大切にしていることを理解  
⇒ 互いの教育をさらに豊かにしていくことにつながる

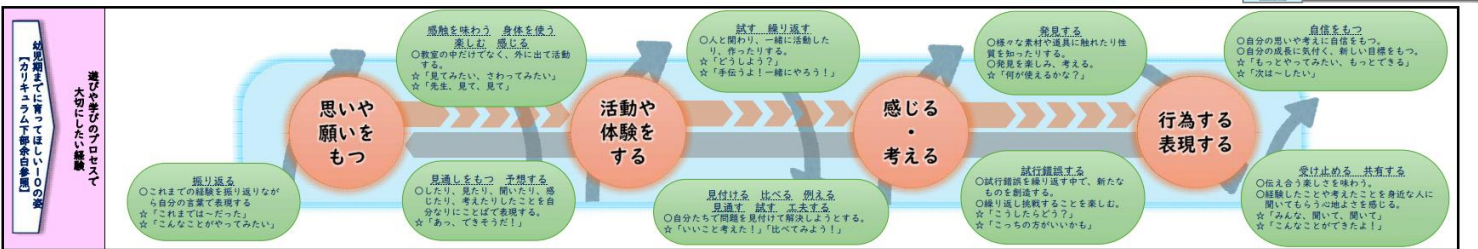


# 【架け橋期のカリキュラムの実効性を高めるために】夜須小学校区の取組

架け橋期のカリキュラム【小学校】  
めざす子ども像の実現に向けた共通して取り組みたい指導

夜須小学校区 めざす子ども像 友達と関わりながら自分の思いや願いを自己実現できる子ども  
香南市の付けた3つの力 **I: コミュニケーション能力** **II: 規範意識** **III: 自尊感情**

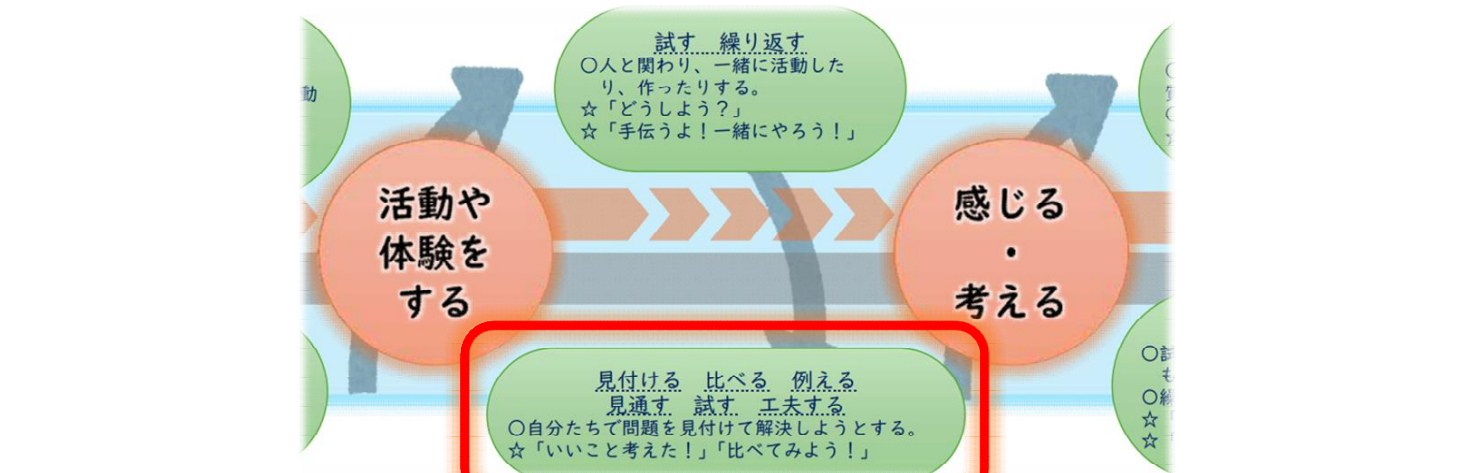
P13-18



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<b>めざす子ども像</b>	幼児期の経験を生かしながら学習や生活に取り組んでいる。	不思議に感じたことについて見通しをもって調べたり、自分の考えを友達に伝えたりしている。	友達や先生に自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いて理解しようとしていたりする。	学校生活に慣れ親しみ、自分のことは自分でできる。	いろいろなことにチャレンジしたり、興味関心をもって目的に向かって試行錯誤を繰り返しながら取り組んだりしている。	友達の自然と関わる活動を通して、身近な自然を全身で感じながら夏の自然を生かした遊びを発見と工夫しながら行う。	互いの話に関心をもち、相手の思いや考えを受けて話したり、聞いたりしている。	課題に対して自分の考えをもったり、先生や友達の意見を最後まで聞いたりしている。	安心して学校生活を送り、自分の仕事に責任をもって取り組んでいる。	試みたり工夫したりしながら、あきらめずにやり遂げることで充実感・達成感を味わい、自信をもって行動している。	自分の成長への喜びや進級への期待をもって意欲的に生活しようとしている。	友達と自分の考えを比べて聞いたり、伝えたりしている。	自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長に気付くとともに、進級の期待や目標をもっている。
<b>市三つの力</b>	気持のよい挨拶や返事ができる。	学校のルールを知り、ルールを守って過ごすことができる。	身近な物や環境に興味をもち、好奇心をもって見たり聞いたりしている。	学校生活に慣れ親しみ、自分のことは自分でできる。	いろいろなことにチャレンジしたり、興味関心をもって目的に向かって試行錯誤を繰り返しながら取り組んだりしている。	友達の自然と関わる活動を通して、身近な自然を全身で感じながら夏の自然を生かした遊びを発見と工夫しながら行う。	互いの話に関心をもち、相手の思いや考えを受けて話したり、聞いたりしている。	課題に対して自分の考えをもったり、先生や友達の意見を最後まで聞いたりしている。	安心して学校生活を送り、自分の仕事に責任をもって取り組んでいる。	試みたり工夫したりしながら、あきらめずにやり遂げることで充実感・達成感を味わい、自信をもって行動している。	自分の成長への喜びや進級への期待をもって意欲的に生活しようとしている。	友達と自分の考えを比べて聞いたり、伝えたりしている。	自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長に気付くとともに、進級の期待や目標をもっている。
<b>主要な活動(教科)</b>	なつがやう だいすき	なつがやう だいすき	なつがやう だいすき	なつがやう だいすき	なつがやう だいすき	なつがやう だいすき	なつがやう だいすき	なつがやう だいすき	なつがやう だいすき	なつがやう だいすき	なつがやう だいすき	なつがやう だいすき	なつがやう だいすき
<b>他教科との関連</b>	国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動	国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動	国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動	国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動	国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動	国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動	国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動	国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動	国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動	国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動	国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動	国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動	国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動
<b>先生との関わり</b>	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。
<b>環境づくり</b>	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。
<b>地域連携</b>	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。
<b>行事等</b>	入学式・対面式	運動会	交流活動(2)	交流活動(2)	交流活動(2)	交流活動(2)	交流活動(2)	交流活動(2)	交流活動(2)	交流活動(2)	交流活動(2)	交流活動(2)	

幼児期までに育てたい10の姿  
 国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動  
 国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動  
 国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動  
 国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動  
 国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動  
 国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動  
 国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動  
 国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動  
 国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動  
 国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動  
 国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動

# 【架け橋期のカリキュラムの実効性を高めるために】夜須小学校区の取組



	6月	7月	8月
<b>めざす子ども像</b>	不思議に感じたことについて見通しをもって調べたり、自分の考えを友達に伝えたりしている。	友達や先生に自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いて理解しようとしていたりする。	学校生活に慣れ親しみ、自分のことは自分でできる。
<b>市三つの力</b>	学校のルールを知り、ルールを守って過ごすことができる。	身近な物や環境に興味をもち、好奇心をもって見たり聞いたりしている。	いろいろなことにチャレンジしたり、興味関心をもって目的に向かって試行錯誤を繰り返しながら取り組んだりしている。
<b>主要な活動(教科)</b>	なつがやう だいすき	なつがやう だいすき	なつがやう だいすき
<b>他教科との関連</b>	国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動	国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動	国語 算数 英語 音楽 体育 美術 保健体育 社会 理科 外国語活動 総合 道徳 情報 家庭科 職業科 特別活動
<b>先生との関わり</b>	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。
<b>環境づくり</b>	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。
<b>地域連携</b>	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。	児童の成長を支援し、児童と一緒に活動の楽しさを味わう。
<b>行事等</b>	入学式・対面式	運動会	交流活動(2)

# 架け橋期のカリキュラムの実効性を高めていくために

教育の連続性・一貫性を踏まえた架け橋期のカリキュラムの作成、実施、評価、改善を具体的に実施していくためにどのような取組が必要か。



☆架け橋期のカリキュラム作成後にその実効性を高めていくため、幼保小が架け橋期の教育や子供の姿等を共に振り返り、教育の改善・充実につなげていくことが重要。

## 双方の教育・保育の充実へ

【架け橋期のカリキュラムの実効性を高めていくために】 園どうしのつながり

かつてに交流会



# 子ども



## 安心感



# 園・小

# 保護者

## 校区のめざす子ども像



令和6年度 架け橋プログラム事業 春野東小学校区：めざす子ども像「主体的にチャレンジし、学びを将来につなぐことができる子ども」

【子どもの実態から、今後育んでいきたい力】

～学びの芽生え・学力（資質・能力）向上に向けて～

知識・技能（の基礎）	思考力・判断力・表現力等（の基礎）	学びに向かう力・人間性等
<b>A) チャレンジ精神</b> ・物事に主体的に取り組む力 ・他人に働きかけ巻き込む力 ・目的に向かって行動する力 ・あきらめずに最後まで頑張る力	<b>B) 自尊・他尊</b> ・一人一人のよさに気づき、認める力 ・自分は頑張ることができるという感情、自信 ・周囲から愛されているという感情 ・自分のことが好きという感情	<b>C) コミュニケーション力</b> ・人と関わる力 ・自分の意見（思い）を分かりやすく伝える力 ・相手の意見（思い）を聴く力 ・意見の違いを理解する力
		<b>D) 親土愛</b> ・地域の人等自分の生活に関係の深い人々とふれあい、親しみをもつ。 ・地域の人々との交流を通して、地域のよさや課題について学ぼうとする力

【学びを支える力とめざす子ども像につながる具体的な姿（・）】

小学校「主体的に関わり合い、発信できる子ども～自ら課題を見付け、知識を生かして解決する～」

知識・技能（の基礎）	保育所・幼稚園・認定こども園等				小学校			
	前期 0歳	中期 1歳 2歳 3歳 4歳	後期 5歳児	架け橋期	低学年 1年生	低学年 2年生	中学年 3・4年生	高学年 5・6年生
知識・技能（の基礎）  思考力・判断力・表現力等（の基礎）  学びに向かう力・人間性等	<b>身近なものに興味・関心をもつ</b> ・人やものの存在を感じる。 ・五感で感じる。 ・身の回りや場所を見つけて安心して繰り返す楽しむ。 ・友達や保育者と一緒にすることを喜び、友達や保育者と一緒にできたり、工夫したり、試したり、協力したりする。				<b>進んで学習に取り組む</b> ・季節や生活の変化に気付く。 ・友達や先生と一緒に挑戦しようとする。 ・友達や保育者と一緒に工夫し、試行錯誤しながら遊びを進める。 ・生活や活動に見通しをもち、自信をもって行動しようとする。 ・幼児期の経験をもとにして考え、伝えようとしている。 ・興味・関心が広がる。 ・不思議に感じたことについて見通しをもって調べる。			
	<b>安心して自己発揮する</b> ・特定の人に依存し、愛着を感じる。 ・快・不快を表現する。 ・特定の人に見守られ、認められ、安心感を得る。 ・安心感を感じる。 ・身の回りのことを自分でやってみようとする。 ・自分のやりたいことを主張する。 ・自分の気持ちを何とか調整する。				<b>自分や集団の成長を感じ、自信をもつ</b> ・自分の意見を言ったり、友達の意見を聞いたりしながら気持ちの自己調整をする。 ・互いのよさを認めあおうとする。 ・自分のよさに気づき、ありのままの自分を大切にすること。 ・善悪の判断に基づき行動する。			
	<b>身近な人に自分の思いを表現する</b> ・特定の人に喃語や体の動きで思いを表す。 ・言葉と感情をつなげる。 ・目的を共有する。 ・生活の中の言葉が分かる。 ・言葉と文字がつながる。 ・家族や親しい人との会話を楽しむ。 ・相手に分かりやすく話すことの大切さに気付く。				<b>自分の考えを伝えたり相手の考えを聞いたりすることで考えを深める</b> ・自分の考えをクラスの友達に伝え、いろいろな表現方法を知り、表現を工夫している。 ・図やチャートを用いて情報を整理し、まとめている。 ・自分の考えを相手に適切に伝え、相手の考えとの相違点を捉えている。 ・互いの話に関心をもち、相手の思いや考えを受けて話す。 ・相手の話を最後まで聞き、自分との違いに気付いている。			
	<b>いろいろな人やものと触れ合う</b> ・特定の人や物へのやさしさや愛情を感じ、コミュニケーションがとれる。 ・言葉の響きを楽しむ。 ・身近な大人や友達や自然と関わる。 ・地域の人や自然、行事を知る。 ・あこがれをもつ。 ・地域の人や物に親しみをもって関わる。				<b>地域に愛着をもって関わる</b> ・地域の自然に触れることで季節の移り変わりを感ずる。 ・地域の人や自然に愛着をもち、自然を大切にしたり、安全で適切な行動をしたりする。 ・地域の人やものよさや特徴に気づき、関わっている。 ・自分の住んでいる地域で働いている人と関わりをもち、春野町のよさや特徴に関心をもち、			

心身ともに健やかな子どもを育てる



## R6 架け橋期のカリキュラム (保育所・幼稚園・認定こども園)

めざす子供の発達に向けた共通して取り組みたい指導

**遊びや学びのプロセスで**

新たなことに興味・関心をもつ  
自分の得意で慣れる  
自分の役割を知る  
発見をもつ  
生活の幅を広げる  
情緒・情緒を通して  
小さい頃のお世話をする

自分のやりたいことを見付ける  
思いのぶつかり合い  
遊びの広がり  
季節ごとの自然やものとの関わりが広がる  
水やり等のお世話をする  
眺める・感じる

試す 挑戦する  
友達や先生と  
探究することを  
感じる・気付く  
不思議に思う

素材や材料を工夫する  
素材を見付ける  
素材を確か  
素材を確か  
繰り返す  
繰り返す  
繰り返す

新しいクラスで安定自己発揮する  
関わりが広自己調整する気

	4月	5月	6月	7月	8月
めざす子供の姿	毎週行った遊びを通して、自分の得意なことをしようとしたり、友達と一緒に楽しみながら楽しさを繰り返す。	自分の得意を出したり相手の得意を受け入れたりしながら友達と工夫したり楽しんだりして、得意なことを伸ばしていくようになる。	自分の得意を出したり相手の得意を受け入れたりしながら友達と工夫したり楽しんだりして、得意なことを伸ばしていくようになる。	自分の得意を出したり相手の得意を受け入れたりしながら友達と工夫したり楽しんだりして、得意なことを伸ばしていくようになる。	自分の得意を出したり相手の得意を受け入れたりしながら友達と工夫したり楽しんだりして、得意なことを伸ばしていくようになる。
生活活動	「わあきれい、不思議だね、どうなるのかな」	「こうしたいから、これ使おう」「やってみたら、こうなったよ」	「こうしたいから、これ使おう」	「やってみたら、こうなったよ」	「やってみたら、こうなったよ」
指導上の配慮事項	「やっていこうとする遊びや材料を制限し過ぎず、一人一人の進め方を止めず、友達と一緒に楽しむ機会を確保し、自分の得意や関心に合わせて、興味をもつて取り組めるようにする。	生活や遊びについて、互いの得意や関心や興味をつくる、得意や関心と共有する。	生活や遊びについて、互いの得意や関心や興味をつくる、得意や関心と共有する。	生活や遊びについて、互いの得意や関心や興味をつくる、得意や関心と共有する。	生活や遊びについて、互いの得意や関心や興味をつくる、得意や関心と共有する。
環境	「興味や工夫を工夫したり、一緒に眺めたりする状況を作る。	「興味や工夫を工夫したり、一緒に眺めたりする状況を作る。」	「興味や工夫を工夫したり、一緒に眺めたりする状況を作る。」	「興味や工夫を工夫したり、一緒に眺めたりする状況を作る。」	「興味や工夫を工夫したり、一緒に眺めたりする状況を作る。」
行事等	「季節ごとの自然やものとの関わりが広がる」	「季節ごとの自然やものとの関わりが広がる」	「季節ごとの自然やものとの関わりが広がる」	「季節ごとの自然やものとの関わりが広がる」	「季節ごとの自然やものとの関わりが広がる」

## R6 架け橋期のカリキュラム (小学校)

めざす子供の発達に向けた共通して取り組みたい指導

**学びのプロセスで**

学校生活に慣れる  
直接的に働きかける  
見通しをもって活動する

期待感をもつ  
幼児期の経験を生かす  
安心・安全に過ごす  
自己発揮する

「どうして?」「どうしたい?」  
思いや願いをもつ  
「どうなりたい?」  
自分の成長に気付き新しい目標に向かう

生活に必要な習慣や技能を習得する  
意欲・自信をもつ  
「どうだった?」

振り返る

	4月	5月	6月	7月	8月
めざす子供の姿	・幼児期の経験を生かしながら学習や生活に取り組んでいる。 ・学校での生活は、様々な人や物と関わっていることが分かり、楽しく安心して過ごそうとしている。 ・友達や先生と一緒に挑戦しようとしている。	・不慣れな感じたことについて共通して乗り越えたり、自分の考えを友達に伝えたりしている。 ・地域の自然に触れることで四季の変化や季節の特徴を確かめながら、身近な自然を楽しんでいる。	・不慣れな感じたことについて共通して乗り越えたり、自分の考えを友達に伝えたりしている。 ・地域の自然に触れることで四季の変化や季節の特徴を確かめながら、身近な自然を楽しんでいる。	・不慣れな感じたことについて共通して乗り越えたり、自分の考えを友達に伝えたりしている。 ・地域の自然に触れることで四季の変化や季節の特徴を確かめながら、身近な自然を楽しんでいる。	・不慣れな感じたことについて共通して乗り越えたり、自分の考えを友達に伝えたりしている。 ・地域の自然に触れることで四季の変化や季節の特徴を確かめながら、身近な自然を楽しんでいる。
生活活動	「がっこうでかいた」「がっこうでかいた」	「がっこうでかいた」「がっこうでかいた」	「がっこうでかいた」「がっこうでかいた」	「がっこうでかいた」「がっこうでかいた」	「がっこうでかいた」「がっこうでかいた」
指導上の配慮事項	「やってみたい」「したい」「できるよになりたい」と伝えるよう学習意欲を高め、自信や関心を育て、学習意欲や学習態度を工夫する。(指導)	「やってみたい」「したい」「できるよになりたい」と伝えるよう学習意欲を高め、自信や関心を育て、学習意欲や学習態度を工夫する。(指導)	「やってみたい」「したい」「できるよになりたい」と伝えるよう学習意欲を高め、自信や関心を育て、学習意欲や学習態度を工夫する。(指導)	「やってみたい」「したい」「できるよになりたい」と伝えるよう学習意欲を高め、自信や関心を育て、学習意欲や学習態度を工夫する。(指導)	「やってみたい」「したい」「できるよになりたい」と伝えるよう学習意欲を高め、自信や関心を育て、学習意欲や学習態度を工夫する。(指導)
環境	「学校生活に必要な習慣や技能を習得する」	「学校生活に必要な習慣や技能を習得する」	「学校生活に必要な習慣や技能を習得する」	「学校生活に必要な習慣や技能を習得する」	「学校生活に必要な習慣や技能を習得する」
行事等	「学校生活に必要な習慣や技能を習得する」	「学校生活に必要な習慣や技能を習得する」	「学校生活に必要な習慣や技能を習得する」	「学校生活に必要な習慣や技能を習得する」	「学校生活に必要な習慣や技能を習得する」

# 架け橋プログラム 資料



文部科学省HP



## 幼児教育と小学校教育の特徴とは?

## 教育の特徴とは?

幼児教育と小学校教育の特徴を、教育課程

等や教育方法などの面から見てみましょう。

**幼児教育** (幼稚園・保育所・認定こども園)

**教育の目標** 「感じる」「気付く」「考える」「工夫する」「興味をもつ」「関わる」等の経験を重視

**教育の方法等** 遊びを通した総合的な指導

**幼稚園教育要領等** 5つの領域からなる「ねらい」と「内容」(健康・人間関係・環境・言葉・表現)

**小学校教育**

**教育の目標** 「〜できるようになる」「分かるようになる」等の目標への到達度を重視

**教育の方法等** 各教科等の目標・内容に沿って選択された教材による授業

**小学校学習指導要領** 各教科等における目標及び内容(国語科・社会科・算数科・理科・生活科・音楽科・図画工作科・家庭科・体育科・外国語科・道徳科・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動)

**共通 幼児教育と小学校教育**

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭置きながら、小学校以降の生活や学習の基盤となる資質・能力を育成する

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿) ※内容は各教科の学習カリキュラムとして展開

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導を工夫することにより、幼児期に育まれた資質・能力を踏まえて、教育活動を実施する

**教育課程等** 一人一人の資質・能力を育てていくよう

**教育方法** 「主体的・対話的で深い学び」の実現

**小学校教育** 各教科等における目標及び内容(国語科・社会科・算数科・理科・生活科・音楽科・図画工作科・家庭科・体育科・外国語科・道徳科・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動)

幼児教育と小学校教育の特徴をみると、様々な違いがあるように見えますが、子供の学びは連続していて、一人一人の資質・能力を育てていくことには変わりはありません。では、幼児教育ではどのように子供たちの資質・能力の育成を図っているのか、見てみましょう!



## 高知県保幼小の架け橋プログラム 実践ガイドブック



令和7年3月

高知県教育委員会事務局 幼保支援課

### ② 【保幼小連絡会Ⅰ】～秋の自然物を使った遊び～

【目的】 保幼小が共通の視点で子どもの姿を話し合うことで、そこで育まれつつある資質・能力を互いに知り合い、各施設の教育に生かせるようにする。

【ポイント】 保幼小の類似点や相違点等の気付きから教材研究につなげる。  
双方のねらいや目標を知る。複数園の場合は、年間計画から取りまとめる。

【準備する物】グループ：模造紙1枚、カラーマジックペン。個人：付箋4色(3セット)、ネームペン

【所要時間・人数等】60分程度・1グループ5、6人

◆テーマ 「秋の自然物を使った遊び」

◆始める前に 模造紙の上に幼児教育施設のねらいを、下に小学校の目標を記載しておく。

◆進め

1. 幼児教育施設のねらいと小学校の目標を確認する。

子どもの遊びの写真や教科書を見せ合うのもいいですね

2. 進め方を説明し、4色の付箋にネームペンで書く。(1人4色×3セット程度)

【付箋】①黄色：ねらい(目標)に基づいた子どもの姿 ②桃色：①の姿から育まれつつある力(資質・能力)

③青色：①②につながった環境構成(学習環境) ④緑色：①②につながった先生の援助(支援)

5歳児の例  
一緒に作ったどんぐりコースで「なんでこっちはっかり行くか」と言い、友達と直し始めた。

一つの目的に向かって、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたたりして、一緒に達成しようとする。

作りたいものがじっくりと作れる素材や場・時間があつた。

保育者は友達のやり取りを聞きながら、近くで見守っていた。

3. 幼児教育施設から付箋の内容に言葉を足しながら模造紙に貼る。似た内容は同じところに貼ったり、発言内容を追記したり、グルーピングしタイトルを付けてたりして、可視化しながら進める。幼児教育施設が出し終わったら、小学校が同じようにしていく。

4. 全ての付箋を出したら、類似点や相違点を見て、つなげたり追記したりする。



5. 保幼小が、それぞれで大切にしていることを聞き合う。

6. 今後の「秋の自然物を使った遊び」について、小学校は幼児教育の経験を生かして授業をどのように工夫していきたいか、幼児教育施設は、小学校を見通してどのような工夫ができそうか(注：小学校の前例にならないように)出し合う。(それぞれが数分相談し合って出し合うのもよい)



7. それぞれの指導計画に追記する。

# まずはお互いを知ることから

# そして学びを繋げよう



きらっと いそいそ あったかい  
高知家の教育

# 協議主題 3

## 特別な支援を必要とする幼児の状態等に 応じた計画的、組織的な指導の在り方について

### 協議の視点①

合理的配慮の提供を踏まえた個別の教育支援計画の作成やその活用にあたって、どのような取り組みが考えられるか

### 協議の視点②

個別の指導計画の作成やその活用にあたって、どのような工夫が考えられるか

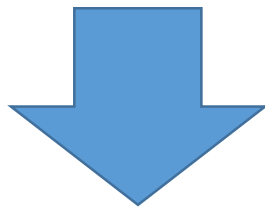
## 第5節 特別な配慮を必要とする幼児への指導

障害のある幼児などへの指導に当たっては、集団の中で生活することを通して全体的な発達を促していくことに配慮し、特別支援学校などの助言又は援助を活用しつつ、**個々の幼児の障害の状態などに応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行うもの**とする。

また、家庭、地域及び医療や福祉、保健等の業務を行う関係機関との連携を図り、**長期的な視点で幼児への教育的支援を行うために、個別の教育支援計画を作成し活用することに努めるとともに、個々の幼児の実態を的確に把握し、個別の指導計画を作成し活用することに努めるもの**とする。

# 切れ目ない支援体制を

近年、**発達障害をはじめとする通級による指導を受ける児童生徒は増加傾向にある**とともに、通常の学級に特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍していることも明らかになっている。



- 指導の実施に向けた教員の理解・啓発、専門性の向上
- **就学前からの切れ目ない支援に向けた援助**

## 協議の視点①

合理的配慮の提供を踏まえた  
個別の教育支援計画の作成や  
その活用に当たって、どのよ  
うな取組が考えられるか。

# 協議の視点①

## 合理的配慮

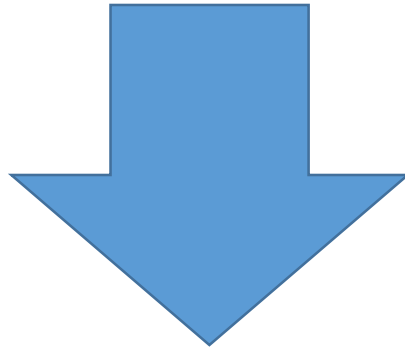
障害のある子供が他の子供と平等に教育を受けられるように、園が必要かつ適当な変更・調整を行うこと



**個別の教育支援計画に記載**

# 個別の教育支援計画とは

教育，医療，福祉，労働等の関係機関が連携・協力を図り，障害のある子供の生涯にわたる継続的な支援体制を整え，それぞれの年代における子供の望ましい成長を促すため、個別の支援計画を作成することが示された。この個別の支援計画のうち、幼児児童生徒に対して、教育機関が中心となって作成するものを、個別の教育支援計画という。

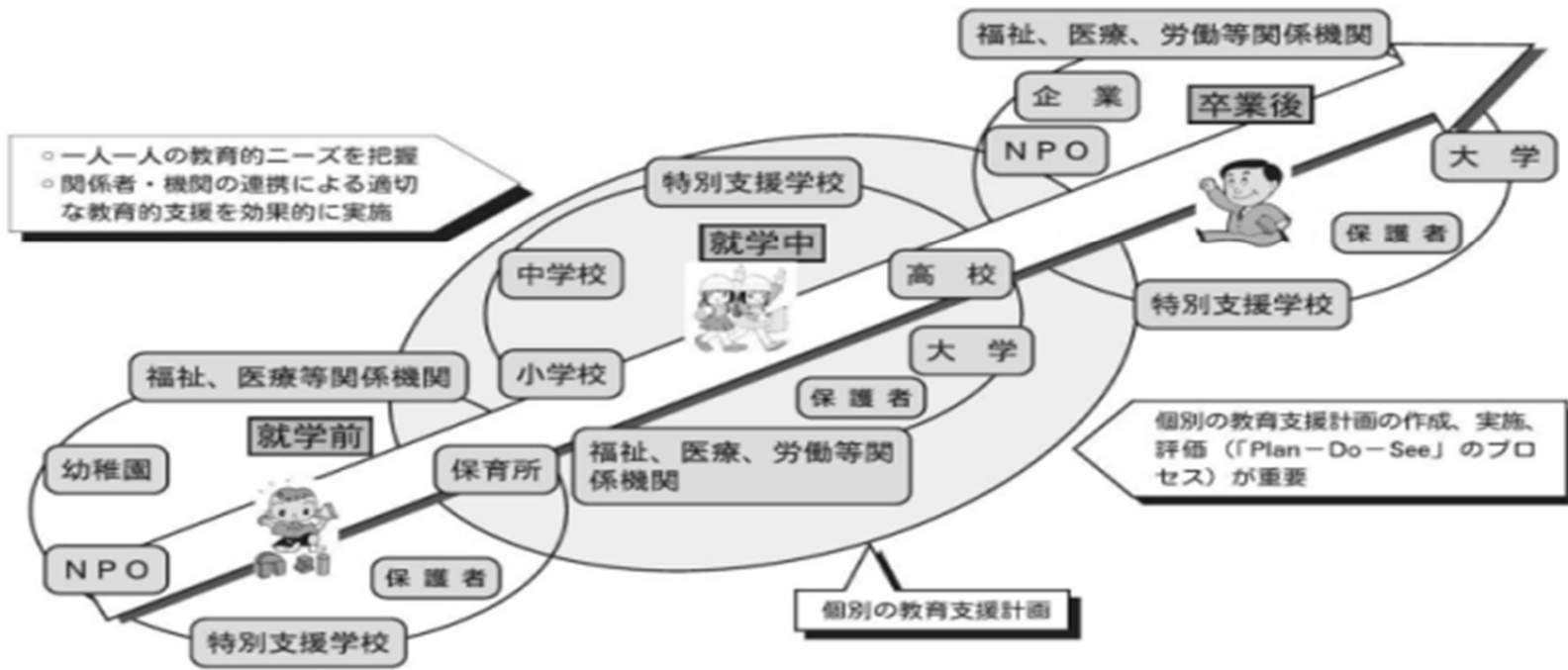


障害のある幼児などは、園や学校での生活だけでなく、家庭生活や地域での生活を含め、長期的な視点で幼児期から学校卒業後までの一貫した支援を行うことが重要である。

その際、個別の教育支援計画には、多くの関係者が関与することから、**保護者の同意を事前に得るなど個人情報の適切な取扱いと保護に十分留意することが必要である。**

# 個別の教育支援計画

—障害のある子どもを生涯にわたって支援—



## 協議の視点②

個別の指導計画の作成や  
その活用に当たって、  
どのような工夫が考えられるか

# 個別の指導計画とは

個々の幼児の実態に応じて適切な指導計画を行うために園や学校で作成されるものである

## 個別の指導計画の作成にあたって

教育課程を具体化し、障害のある幼児一人一人のねらい、指導内容及び指導方法を明確にしてきめ細やかに指導するために作成することが大切

障害の診断の有無にかかわらず、園での遊びや生活において困難さを抱えていると考えられる場合には、積極的に個別の指導計画を作成することが望まれる。

## 個別の指導計画の作成にあたって

一人一人の障害のある幼児などの育ち、学級経営、保護者からの要望、関係機関からの情報等、様々な側面から、見通しをもって指導を考える

幼児の姿から**実態を把握**することが重要

- ・ 幼児の得意なことや苦手なこと、できることとできないこと
- ・ どのようなときに幼児にとって困難な状況が起こるのか
- ・ 幼児の在籍する学級の様子、保護者からの要望、関係機関からの情報等、様々な側面から情報を得る

**総合的に捉えた上で、アセスメント（見立て）を行い、**  
障害の状態等を踏まえた支援を行う

# 個別の指導計画の活用にあたって

当該幼児の姿を捉え計画を見直しながら指導の方針を改めて決める

## ○小学校教育との接続において

- ・園ではどのように関わり、ねらいがどこまで達成できたのか
- ・得意なことや苦手なことは何か
- ・園生活の流れに沿ってどのような支援をしているのか
- ・どのようなときに不安を感じたり落ち着きをなくしたりパニックになったりするのか
- ・そのようなときに園ではどのような支援をしていたのか

できるだけ**具体的な支援や様子**を伝えていく

個別の教育支援計画、個別の指導計画  
共に、**切れ目のない支援**につながるよう、  
**様式**や**書き方**を含め、**作成**や**活用**につい  
て、園内で工夫し、実践してほしい。

(R 8 年度については、本協議主題は高知県では取り上げない)